

# アトバコン服用に関する患者さんの情報の研究利用についてのお知らせ

この度国立病院機構東京医療センター薬剤部では、「ST合剤不耐患者に対するアトバコンの忍容性に関する検討」を行うことになりました。

この研究の目的は、ST合剤（商品名：バクタ、ダイフェン）による副作用を発現した患者さんのアトバコン（商品名：サムチレール）へ変更後の継続率の結果を調べ、第2選択薬としてアトバコンへ変更がどの程度忍容性があるかを明らかにすることです。

この研究のため、2017年1月1日より2024年12月31日までに治療した方の診療録、検査データ、血液等の調査を行います。対象となるのはニューモシスチス肺炎予防目的で治療を行った方で、調査項目は個人情報を含まない医学的な情報（身長、体重、主病名、処方歴、副作用、検査値）のみです。患者さんのお名前、住所などのプライバシーに関する情報が外部に漏れることは一切ありませんのでご安心下さい。

調査したデータは、本研究の責任者のもとで厳重に管理されます。今回の研究で得られた結果に関しては、医学的な専門学会や専門雑誌等で報告されることがあります。

ご自身のデータを研究に利用することを承諾されない方は下記にご連絡下さい。その場合も、診療上何ら不利な扱いを受けることはありません。

この件に関しましてご質問等がございましたらご遠慮なくお尋ね下さい。

2025年3月

研究責任者 上田 真也  
東京医療センター 薬剤部  
連絡先 03-3411-0111(代表)